

第15回 DIA日本年会 ランチョンセミナー

演題: 不可避のイノベーション：創薬の未来

日時: 2018年11月12日 (第2日目) 12:45 ~ 13:30

会場: 101会議室

英語 (同時通訳付)
お弁当アップグレード



演者:
アルベルト・グリニョー
ロ,コーポレートバイス
プレジデント,パレクセルコ
ンサルティング



パネルディスカッションモデレーター:
サイ・ペトリウス, MD, MBA,
MS
シニアバイスプレジデント,
チーフサイエンティックオフィ
サー, パレクセル・インターナ
ショナル

研究開発(R&D)のパイプラインは、製薬会社にとって大きな支出であり、さらなるイノベーションが必要であるにもかかわらず、R&Dの生産性は長年にわたり停滞または低下しています。過去10年間に研究開発費が倍増し、市場投入までの時間は少なくとも12年です。将来の創薬の持続性は、我々が革新しなければこの軌道を継続するでしょう。

この重大な問題へのアクションとして、パレクセルは、The Economist Intelligence Unit (EIU) に委託し、『イノベーションは不可欠: 医薬品開発の未来』を報告しました。この報告書では、アダプティブ臨床試験デザイン、患者中心の臨床試験、プレジジョンメディシンを用いた臨床試験、およびリアルワールドデータ臨床試験という4つのイノベーションが、業界の成功基準を一貫して満たしていることが示されています。現状では、定量的に成功しているにも関わらず、このイノベーションの採用は低く、この「採用の遅れ」の理由と潜在的な解決策について説明します。

スピーキングセッション



サイ・ペトリウス, MD, MBA,
MS
シニアバイスプレジデント,
チーフサイエンティックオフィ
サー, パレクセル・インターナ
ショナル

セッション: The New Future of Clinical
Operation – ICT Leading Virtual Clinical Trial

トピック: Application of Mobile Health in
Clinical Development

日時: 2018年11月13日 (第3日目)
11:00 ~ 12:30

会場: 608会議室



上田 英輝
クリニカルオペレーションズ,
パレクセル・インターナショナル

セッション: RBMの継続的な改善 - PMDA
査察経験をふまえて -

トピック: RBMの経験から見えてきた、実
施現場 (CRA・CRC) の新たな課題

日時: 2018年11月13日 (第3日目)
14:00 ~ 15:30

会場: 608会議室